

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471907132	事業の開始年月日	平成18年1月1日
		指定年月日	平成18年1月2日
法人名	株式会社ツクイ		
事業所名	ツクイ光風台サンフラワー		
所在地	(239-0820) 神奈川県横須賀市光風台 2 9 - 1 8		
サービス種別 定員等	☐ 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
	☒ 認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名
		定員 計	18 名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成21年12月15日	評価結果 市町村受理日	平成22年3月23日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「そよ風」のユニットは比較的自由度が高い方が多く、入居者も家事など自主的に生活を送っている方が多く、入居者それぞれの可能性を最大限に引き出し、その人らしさを大切に対応をしています。入居者毎の個性を職員が共有し、性格の違う入居者同士であっても、安心して共同生活を行うことができるよう、関わり対応への留意に努めています。「ほたる」ユニットは比較的自由度が高い方が多く、入居者も身体に無理のないペースで日常生活を送っています。 自発的な発語が少なく入居同士のコミュニケーションがとりにくい場面が多い為、職員が間に入って会話を楽しめるよう取り組んでいます。いずれのユニットも毎日の生活をレクリエーションでつなぐのではなく、利用者が自主的に普通の生活をつくりあげていき、その中で、毎日充実した日々を送れるような対応を心がけています。 そして、暦や季節の行事を大切にし、入居者それぞれがこれまで積み上げてきた経験を活かして、安心してその方らしい生活を送っていけるよう日々努めています。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成21年12月25日	評価機関 評価決定日	平成22年1月29日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

このホームの特徴 ①経営は福祉で有名なツクイである。ツクイは福祉の総合会社であり、訪問入浴介護から福祉に取り組み、訪問介護、居宅介護支援、グループホーム、デイサービス、有料老人ホームから福祉用具、福祉教育まで扱い、また、関連機関のひまわり福祉会では特養、老健を持っていて、ネットワークは北は北海道から南は沖縄県までに展開している。グループホームは、神奈川で横須賀(2箇所)、川崎、横浜、三浦、厚木、平塚、小田原、湯河原の9箇所を展開している。訪問介護のネットワークはグループホームの啓蒙と告知に寄与し、訪問介護経由の入居者の多い。特長として、鍵をかけないケアの徹底が出来ている点である。日頃の職員の努力と個人別の行動パターン把握の賜物である。立地としては、久里浜の丘陵地に開発された比較的新しい住宅地であり、周囲は1戸建の個人住宅が建ち並ぶ静かで高級さのただよう良好な環境の中にある。 ②地域との関係については良好な関係が出来ている。町内会への加入こそまだ認められていないものの、回覧板も回してもらっているし、夏祭りにも参加のときに席を用意してくれており、夜の暗い時に電気が灯っていた家があって安心とお話もお聞きしている。運営推進会議の事業所会議については、地域代表として町内会の班長さんが参加にくれ、町内会の情報提供などとして頂いている。今回、ツクイの地域担当に戻った前管理者は地域包括支援センター、在宅系事業所、訪問看護事業所とのネットワークがありそれら経由での情報入手やそれら経由での入居などがあり良い連携が出来つつある。 ③ケアの方針としては個人ケアに徹している。入所に際しては独自のアセスメント表、途中チェックに於ける再アセスメント表を併用し、センター方式の一部を活用して展開している。連絡ノートは重点的に活用し、大切な事項から微細なことまで記入し、見て分かる基本ノートを活用している。(検討事項、提案事項なども含む)※医療連携については、現在は基本は通院対応で行っており、認知症等に関しては月一回汐入メンタルクリニックに来て頂いており、メンタルケアの方から、体調もご確認頂いて、診察が必要な場合には、ご指摘して頂いている。今後終末期に向けて、内科医師の応診が必要と考え、既に3～4名応診して頂いている。看護師は、ツクイで採用した方が健康診断に当たっている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	ツクイ光風台サンフラワー
ユニット名	そよ風ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当GHにおける運営理念に地域密着サービスとしての位置づけが不足しているため現在検討を進めている。	理念は、ツクイの会社の理念をグループホームに展開した3項目の理念を持ちケアを行っている。地域との密着については、ツクイの方針であり、前管理者は本来の地域（エリア）担当者に戻り他に展開するグループホーム、訪問介護事業所に併せて地域密着を全体として推進している。	今後の継続	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	法人主体となって進めている清掃活動など（クリーンアップ活動）を実施し、地域への貢献を計画している。	町内会については、まだ加入は出来ていないものの回覧板と回して頂き、夏祭りにも参加し、参加の時に席を用意して頂いたりしている、法人主体となって進めている清掃活動（クリーンアップ活動）を実施し、地域への貢献を推進している。ボランティアには職員だった方が花のお世話に来てくれたりしている。中学生の体験学習を受け入れており、それによるホーム側が得る点も多い。	今後の継続	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の相談窓口としての機能を民生委員さんを通じ町内会にアプローチを行っていくことを検討中。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族の率直な意見を頂く場として、職員への伝達を行いより良いサービス提供に活かしている。	横須賀方式で地域会議、年2回、事業所会議年4回を実施しているが、事業所会議では、民生委員の方の他、地域代表として町内会の班長の方にご参加頂いている。ご家族の率直な意見を頂く場としており、結果は職員への伝達を行いより良いサービス提供に活かしている。	今後の継続	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	報告・連絡・相談を密に行い、適切な運営に向けてのアドバイスを頂いている。	報告・連絡・相談を密に行い、適切な運営に向けてのアドバイスを頂いている。横須賀市は、福祉行政に熱心であり、日頃の相談を親切に伝えてくれる他、空室情報を流すなどグループホームに協力してくれている。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修を通じ身体拘束についての知識・理解を深め、実践に活かせるように努めている。	研修を通じ身体拘束についての知識・理解を深め、実践に活かせるように努めている。スピーチロック等については、ミーティング等で話し合い、お互いに気付かずには言うことがないように注意し合っている。鍵は特別なケースの場合以外は施錠していない。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を通じ身体拘束についての知識・理解を深め、実践に活かせるように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を通じ身体拘束についての知識・理解を深め、実践に活かせるように努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項の説明や入居後の生活についての内容説明も含め、不安なく入居手続きを行って頂けるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入口に意見箱を設置し、自由に意見要望を発信して頂けるしくみがある。	入口に意見箱を設置し、自由に意見要望を発信して頂ける仕組みがある。なかなか自ら意見を言われる方は少ないので、来訪時に話の中で聞いたことに注意し、聞き出すようにしている。家族会は作っていないが、2階は家族フリーな集まりの「ほたる祭」を持っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングには管理者のみならず法人地域担当も参加し、職員よりの意見提案を聞き運営に活かすよう努めている。	ミーティングには管理者のみならず法人地域担当も参加し、職員よりの意見提案を聞き運営に活かすよう努めている。家族のアンケートを取り、その内容を運営に反映させるべく努力中である。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の事情を含め、各職員がやりがいをもって長く就業できるよう、個別の面談実施を行なっている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人で実施する様々な研修会を含め、個々の能力U pに繋がる育成に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域のグループホームとの連携を深め、交換研修等も行なっている。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	まずは傾聴の姿勢を心がけ、不安の解消に向けての個別の対応を職員間で検討・実施している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居後の様子をご家族にご連絡するとともに、不安な事項が無い様、詳細説明に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	日々の様子観察をサービス内容に活かしていけるよう、職員間の伝達を行ったうえでの対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の支度や片付け、洗濯などその方ごとに日々の役割を設け、生活者としての意義を感じて頂けるよう努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の様子観察よりの情報をこまめにご家族に連絡し、必要な対応についての協議を共に行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人の来訪や、電話・手紙のやりとりなど馴染みの関係が継続できるように支援に努めている。	友人の来訪や、電話・手紙のやりとりなど馴染みの関係が継続できるように支援に努めている。独立した住宅地であるので、この地を第二の故郷として生活して頂けるようケアに努めている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	各人の個性が上手くマッチし共同生活を楽しくで頂けるよう、適時に関わりを援助している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談など、気軽に行って頂ける関係性を目指している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活のペースや好みが最大限生かされるよう、希望・要望の聴取に努めている。	日々の生活のペースや好みが最大限生かされるよう、希望・要望の聴取に努めている。この利用者は現時点では、比較的自分の意見が言える方が多いので、極力希望に沿うように努めている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	各人との会話やご家族よりの情報をもとにその方のバックグラウンドを踏まえサービス提供にあたるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	様子観察、記録、伝達に努め、各職員が状態把握を行うように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	個別カンファレンスをもとにその方に必要なことは何かを導き出し、ご家族の意見も頂いた上での計画作成に努めている。	アクセスメント等、介護書式については、センター方式をベースとして作成し、ツクイ独自のフォーマットと併用しながら記録しつつ介護を続けている。個別カンファレンスを基に、その方に必要なことは何かを導き出し、ご家族の意見も頂いた上での計画作成に努めている。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子が詳細に分かるよう介護記録を工夫し、変化等についても共有の上で実践に活かすようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	各人のニーズのその時々のが何であるかを常に意識におき、サービス提供のバリエーション選択に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事の参加なども含め、各人の楽しみを発見できるようサポートに努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	各人の心身状況に合わせた受診を検討し、本人・家族との相談の上で安心して受診してもらうようにしている。	各人の心身状況に合わせた受診を検討し、本人・家族との相談の上で安心して受診してもらうようにしている。医療は通院を基本として、認知症等に関しては汐入メンタルクリニックに月1回来て頂いており、メンタルケアのかたわら体調もご確認いただき、診察が必要な場合には、ご指摘して頂くようになっている。看護師はツクイの職員として医療管理に当たってもらっている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中であらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回の看護師配置により、日常の健康状態把握や、適切な受診に向けての支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療関係者との連携を密に行い、安心して必要な医療を受けることが出来るように努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化の指針を全ご家族に説明・同意を受け、ご本人の希望に最大限沿った支援が出来るよう心がけている。	重度化の指針を全ご家族に説明し同意を得、ご本人の希望に最大限沿った支援が出来るよう心がけている。重度化に従い、通院が難しいケースも出て来て、はじめていますので、内科の応診も最近来て頂き、3～4名は受診してもらっている。終末期ケアに向けて体制を考えている最中である。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修を通じ身体拘束についての知識・理解を深め、実践に活かせるように努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な避難訓練を通じ、主に職員の対応が適切に行なえるようにしている。地域との協力についても連携強化を検討している。	定期的な避難訓練を通じ、主に職員の対応が適切に行なえるようにしている。地域との協力についても連携強化を検討している。ツクイでは、神奈川南ブロックが一体となる体制が出来ており、インフルエンザ等の折、職員のサポート体制など全体で考えるようになっている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個別の対応に心がけ、職員の接遇面の研修実施により質の向上に努めている。	個別の対応に心がけ、職員の接遇面の研修実施により、質の向上に努めている。ツクイには立派なマニュアルがあり、これを基にミーティング等で具体的に話し合うようにしている。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者本位の生活であるよう、各職員が日々心がけサポートをするようにしている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者本位の生活であるよう、各職員が日々心がけサポートをするようにしている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個々の希望や好みに合わせた装いがなされるよう、支援を行っている。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けなどの準備や食事中的会話などトータルで楽しんで頂けるよう心がけている。	食材は、パートナーからメニュー付で仕入れている。盛り付けなどの準備や食事中的会話などトータルで楽しんで頂けるよう心がけている。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養管理されたメニューに沿って摂取量も含めた各人の状況把握に努め記録している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	各人の状態に合わせて口腔ケアへの支援を実施している。また必要に応じ歯科医への相談を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各人の身体状況に合わせた個別の排泄ケアを行うと共に必要な支援を行っている。	各人の身体状況に合わせた個別の排泄ケアを行うと共に必要な支援を行っている。本人にとっての快適さとは何か、などについて皆で考えるようにしている。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個別の食品摂取への支援や、医療関係者との連携により便秘予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	可能な限りの個別対応を実施している。	可能な限りの個別対応を実施している。時間等についてもイベントの日などは、早目の入浴をするなど、決めてかかわらず自然な流れを大切にしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	温度・湿度・照明などの就寝環境も含め、個々の状態に合わせた支援に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師を中心に服薬の管理に努め、各職員も入居者の服薬内容の把握に努め服薬支援を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者の個性に合った役割依頼や、趣味活動が行えるよう支援に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	時間を決めず、可能な限り希望に沿ったタイミングで散歩に出かけられるよう、支援に努めている。	時間を決めず、可能な限り希望に沿ったタイミングで散歩に出かけられるよう支援に努めている。個別にはイオンでコーヒーを飲み、希望をとって食事イベント（外食）を日を変えて小人数で行ったりしている。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	安全面を踏まえ金銭管理はホームで行っているが、買い物同行により、希望に沿った品物を自身で選び購入する機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	実施している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	快適に過ごせる環境であるとともに気絶間を感じながら過ごせる空間となるよう、装飾にも工夫を行っている。	快適に過ごせる環境であるとともに季節感を感じながら過ごせる空間となるよう、装飾にも工夫している。作品を飾っているが、ぬり絵の原画を職員がインターネットで出すなど、珍しい図柄のものが楽しい。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	必要に応じ職員が関わりを支援するなどし、無理なくコミュニケーションを楽しめるよう支援に心がけている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全面を配慮しながら、個々の希望、要望に沿った居室空間となっている。	安全面を配慮しながら、個々の希望、要望に沿った居室空間となっている。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々が可能な限り自立した生活を行っていきけるよう、個々の心身状態を踏まえた支援を行っている。		

事業所名	ツクイ光風台サンフラワー
ユニット名	ほたるユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1, ほぼ全ての利用者の
		○	2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当GHにおける運営理念に地域密着サービスとしての位置づけが不足しているため現在検討を進めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	法人主体となって進めている清掃活動など（クリーンアップ活動）を実施し、地域への貢献を計画している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の相談窓口としての機能を民生委員さんを通じ町内会にアプローチを行っていくことを検討中。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族の率直な意見を頂く場として、職員への伝達を行いより良いサービス提供に活かしている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	報告・連絡・相談を密に行い、適切な運営に向けてのアドバイスを頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修を通じ身体拘束についての知識・理解を深め、実践に活かせるように努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	研修を通じ身体拘束についての知識・理解を深め、実践に活かせるように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を通じ身体拘束についての知識・理解を深め、実践に活かせるように努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項の説明や入居後の生活についての内容説明も含め、不安なく入居手続きを行って頂けるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入口に意見箱を設置し、自由に意見要望を発信して頂けるしくみがある。またご家族来訪時には率直なご意見を頂くようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングには管理者のみならず法人地域担当も参加し、職員よりの意見提案を聞き運営に活かすよう努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の事情を含め、各職員がやりがいをもって長く就業できるよう、個別の面談実施を行なっている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人で実施する様々な研修会を含め、個々の能力Ｕｐに繋がる育成に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域のグループホームとの連携を深め、交換研修等も行なっている。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	まずは傾聴の姿勢を心がけ、不安の解消に向けての個別の対応を職員間で検討・実施している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居後の様子をご家族にご連絡するとともに、不安な事項が無い様、詳細説明に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	日々の様子観察をサービス内容に活かしていけるよう、職員間の伝達を行ったうえでの対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の支度や片付け、洗濯などその方ごとに日々の役割を設け、生活者としての意義を感じて頂けるよう努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の様子観察よりの情報をこまめにご家族に連絡し、必要な対応についての協議を共に行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人の来訪や、電話・手紙のやりとりなど馴染みの関係が継続できるように支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	各人の個性が上手くマッチし共同生活を楽しくて頂けるよう、適時に関わりを援助している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談など、気軽に行って頂ける関係性を目指している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活のペースや好みが最大限生かされるよう、希望・要望の聴取に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	各人との会話やご家族よりの情報をもとにその方のバックグラウンドを踏まえサービス提供にあたるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	様子観察、記録、伝達に努め、各職員が状態把握を行うように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	個別カンファレンスをもとにその方に必要なことは何かを導き出し、ご家族の意見も頂いた上での計画作成に努めている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子が詳細に分かるよう介護記録を工夫し、変化等についても共有の上で実践に活かすようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	各人のニーズのその時々のが何であるかを常に意識におき、サービス提供のバリエーション選択に努めている b。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事の参加なども含め、各人の楽しみを発見できるようサポートに努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	各人の心身状況に合わせた受診を検討し、本人・家族との相談の上で安心して受診してもらうようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回の看護師配置により、日常の健康状態把握や、適切な受診に向けての支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療関係者との連携を密に行い、安心して必要な医療を受けることが出来るように努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化の指針を全ご家族に説明・同意を受け、ご本人の希望に最大限沿った支援が出来るよう心がけている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修を通じ身体拘束についての知識・理解を深め、実践に活かせるように努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な避難訓練を通じ、主に職員の対応が適切に行なえるようにしている。地域との協力についても連携強化を検討している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個別の対応に心がけ、職員の接遇面の研修実施により質の向上に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者本位の生活であるよう、各職員が日々心がけサポートをするようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者本位の生活であるよう、各職員が日々心がけサポートをするようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個々の希望や好みに合わせた装いがなされるよう、支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の身体状況に合わせた安全な食事の支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養管理されたメニューに沿って摂取量も含めた各人の状況把握に努め記録している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	各人の状態に合わせて口腔ケアへの支援を実施している。また必要に応じ歯科医への相談を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各人の身体状況に合わせた個別の排泄ケアを行うと共に必要な支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個別の食品摂取への支援や、医療関係者との連携により便秘予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	可能な限りの個別対応を実施している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	温度・湿度・照明などの就寝環境も含め、個々の状態に合わせた支援に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師を中心に服薬の管理に努め、各職員も入居者の服薬内容の把握に努め服薬支援を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者の個性に合った役割依頼や、趣味活動が行えるよう支援に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	時間を決めず、可能な限り希望に沿ったタイミングで散歩に出かけられるよう、支援に努めている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	安全面を踏まえ金銭管理はホームで行っているが、買い物同行により、希望に沿った品物を自身で選び購入する機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	実施している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	快適に過ごせる環境であるとともに気絶間を感じながら過ごせる空間となるよう、装飾にも工夫を行っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	必要に応じ職員が関わりを支援するなどし、無理なくコミュニケーションを楽しめるよう支援に心がけている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全面を配慮しながら、個々の希望、要望に沿った居室空間となっている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々が可能な限り自立した生活を行っていきけるよう、個々の心身状態を踏まえた支援を行っている。		

目 標 達 成 計 画

事業所 ツクイ光風台
サンフラワー

作成日 平成22年5月21日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	市町村との連携がとれていない。	避難訓練時等に近隣の方にも協力して頂ける関係を持つためクリーンアップ活動を通して交流を深める。	2ヶ月に1回の運営推進会議で市の職員、町内会の方、民生委員の方にグループホームを見て頂き話し易い環境を作る。	1年間
3	19	職員のスキルアップ。	社内研修を職員のスキルに合ったものを行う。	毎月、本社から来る研修に目を向け、職員に呼びかける。	1年間
2	50	プライバシーの確保。	職員1人1人のスキルアップを通して、今の利用者様に合った対応を考える。	職員の都合優先ではなく、利用者様中心の考えをグループワークで話し合う。	1年間
4	66	鍵をかけない。	職員1人1人が意識を持ち対応する。	入居者の関わりが良い方向へ行くよう、ニーズに応じた施錠を検討する。	1年間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。